

# G7広島サミット

## その歴史的意義



# 外交

Vol. 79  
May/June 2023

今月の表紙

サミット最終日の5月21日、G7首脳とウクライナ大統領が討議。ゼレンスキー大統領の出席で、世界の注目はさらに高まった

途上国・新興国と連帯した秩序構築を

北岡伸一 (東京大学)

「対面外交」生かした議長国・日本

飯塚恵子 (読売新聞)

核問題を広島で考える

三山秀昭 (広島アレビ)

米欧間で垣間見えた対中認識の温度差

吉田徹 (同志社大学)

G7サミット世界はどう見る

ロシア

「G」の枠組みと決別し抱くビジョン 大前仁 (毎日新聞)

中国

「責任ある大国」突きつけられたジレンマ 竹内誠一郎 (読売新聞)

台湾

支援の「波」を起こし続けられるか 石田耕一郎 (朝日新聞)

韓国

尹外交の「狙い」が達成されたサミット 青木良行 (NHK)

インド

広島でも買いた「したたか外交」 浅野友美 (読売新聞)

インドネシア

大きな期待、乏しい実感 地曳航也 (日本経済新聞)

ブラジル

ルーラ大統領、G7の「フナ」にはまる 宮本英威 (日本経済新聞)

ウクライナ戦争で「凋落」する欧州

東野篤子 (筑波大学)

欧州東方シフトで存在感増すポーランド

宮島昭夫 (駐ポーランド大使)

## FOCUS ウクライナ戦争は 周辺国を どう変えたか

44 40

フィンランド NATO加入という選択

タジェ・ユントウネン (タンペレ大学)

「未承認国家治ドニエストル」を抱えるモルドバ

松壽英也 (津田塾大学)

孤立から協調へ—トルコ・エルドアン外交の現在地

今井宏平 (シエトロ・アジア経済研究所)

独裁を守るためロシアに従属するベラルーシ

服部倫卓 (北海道大学)

ロシア・ジョージア戦争 欧米「不介入」の教訓

ダヴィド・ゴギナシユヴィリ (駐日ジョージア大使館)

カザフスタン 戦争と政治改革のジレンマ

東島雅昌 (東京大学)

TREND  
2023

92 99 110 118 122 128 134 140

シャトル外交を復活させた日韓首脳政治決断  
対談◎西野純也 (慶應義塾大学) × 渡部恒雄 (笹川平和財団)

箱田哲也 (朝日新聞)

日米韓の安全保障協力は新段階へ

門間理良 (拓殖大学)

中米で続く「対台湾断交」の背景

笹田千容 (駒澤大学)

いつまで続く「ミャンマー」膠着状態

中西嘉宏 (京都大学)

イラク戦争から二〇年の中東

池内恵 (東京大学)

ウクライナ戦争終結に向けた日本の役割

東大作 (上智大学)

スーダン民主化革命 挫折の構図

飛内悠子 (盛岡大学)

連載

86 90 146 150

駐日大使は語る 駐南アフリカ共和国大使 ルラマ・スマッツ・シゴニヤ

著者に聞く「核共有の現実」岩間陽子 (政策研究大学院大学)

アラウンド・ザ・ワールド 英国CPTPP加盟

後藤志保子 (ウツリシモダ)

新刊案内

外交極秘解除文書 山口航 (帝京大学)

英文目次

ブックレビュー 大庭三枝 (神奈川大学)

154 156 158 161

INDEX & OUT